

[平成20年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

芝浦工業大学 システム工学部生命科学科

【届出】 設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 芝浦工業大学
平成21年5月1日現在

担当部局（課）名	企画室
電話番号	03-5859-7200
F A X	03-5859-7201
e-mail	kikaku@ow.shibaura-it.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は届出時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 〇〇学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科（通信教育課程）」

目 次

1. 調査対象大学等の概要等
2. 授業科目の概要
3. 施設・設備の整備状況、経費 (省略)
4. 既設大学等の状況 (省略)
5. 教員組織の状況 (省略)
6. その他の全般的事項

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 芝浦工業大学

(2) 大学名

芝浦工業大学

(3) 大学の位置

〒337-8570
埼玉県さいたま市見沼区大字深作307番地
(東京都江東区豊洲3丁目7番5号)

(4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(ナガトモ ヲサ) 長友隆男 (平成18年6月)		
学長	(ツグ アヤオ) 柘植綾夫 (平成19年12月)		
学部長	(コメダ タシ) 米田隆志 (平成17年4月)	(ミウラ マサオ) 三浦昌生 (平成21年4月)	平成21年3月31日付任期満了につき変更(21)

- (注) 1. 『(3) 大学の位置』は、届出学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
2. 『(4) 管理運営組織』の「変更状況」欄は、変更があった場合のみ記入し、併せて「備考」欄に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成21年度に報告する内容 → (21)

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) 1 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 2 様式は, 平成19年度開設の場合(平成22年度までの4年間)ですが, 開設年度に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)
 3 定員を変更した場合は, 備考欄に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) -① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の 名称(学位)	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
システム理工学部 生命科学科 学士(生命科学)	年 4	人 100	年次 人 0	人 400	

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平均入学定員 超過率	備 考
		人	人	人	人		
A 入学定員	() 100	() 100	()	()	1.15倍		
志願者数	() 677	() 1673	()	()			
受験者数	() 642	() 1633	()	()			
合格者数	() 230	() 558	()	()			
B 入学者数	() 99	() 132	()	()			
入学定員超過率 B/A	() 0.99	() 1.32	()	()			

- (注) 1 ()内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を備考欄に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 2 「平均入学定員超過率」欄には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	備 考
1年次	[1] 99	[-] 132	[]	[]	2年次の転部入学より1名、 転科入学2名	
2年次	[-] -	[1] 100	[]	[]		
3年次	[-] -	[-] -	[]	[]		
4年次	[-] -	[-] -	[]	[]		
計	[1] 99	[1] 232	[]	[]		

- (注) 1 []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成20年度	計 [-] 2人	(累積)計 [1] 99人	[0%] 2.0%
	うち平成20年度入学者 2人	うち平成20年度 99人	
	(主な退学理由) 他の教育機関への入学・転学 (1)		
平成21年度	計 [-] 0人	(累積)計 [1] 232人	[0%] 0%
	うち平成20年度入学者 0人	うち平成20年度 100人	
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 132人	
	(主な退学理由)		
平成22年度	計 []	(累積)計 []	[%] %
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
	(主な退学理由)		
平成23年度	計 []	(累積)計 []	[%] %
	うち平成20年度入学者 人	平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	平成23年度 人	
(主な退学理由)			

(注) 1 []内には、留学生の状況について内数で記入してください。

2 「入学者数に対する退学者数の割合」欄は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの入学者(累積)で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

3 「主な退学理由」欄は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。

- ・就学意欲の低下
- ・学力不足
- ・他の教育機関への入学・転学
- ・海外留学
- ・就職
- ・学生個人の心身に関する事情
- ・家庭の事情
- ・除籍
- ・その他

2 授業科目の概要

<システム理工学部 生命科学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総 合 科 目	哲学Ⅰ	1234 前		2							
	哲学Ⅱ	1234 後		2							
	史学Ⅰ	1234 前		2							
	史学Ⅱ	1234 後		2							
	法学Ⅰ	1234 前		2							社会科学系科目の再編による廃止 (21)
	法学Ⅱ	1234 後		2							社会科学系科目の再編による廃止 (21)
	経営学Ⅰ	1234 前		2							
	経営学Ⅱ	1234 後		2							
	経済学Ⅰ	1234 前		2							
	経済学Ⅱ	1234 後		2							
	社会学概論	1234 前後 前		2							学部定員増に伴う開講期の増 (21)
	社会学の方法	1234 後		2							社会科学系科目の再編による廃止 (21)
	カルチュラルスタディーズⅠ	1234 前		2							
	カルチュラルスタディーズⅡ	1234 後		2							
	社会科学の方法	2 前		2							社会科学系科目の再編による廃止 (21)
	経営学と実践	3 前		2							
	現代社会論 情報社会論	3 後		2							社会科学系科目の再編による科目名称変更 (21)
	技術者と倫理 技術と倫理	3 前		2							社会科学系科目の再編による科目名称変更 (21)
	環境と文明社会	2 前		2							
	総合科目Ⅰ(創る)	1 前		2		1					社会科学系科目の再編による科目名称変更 (21)
	総合科目Ⅱ(社会と技術)	1 後		2							社会科学系科目の再編による科目名称変更 (21)
	言語と文化										
	総合科目Ⅲ(言語と文化)	1 後		2							社会科学系科目の再編による科目名称変更 (21)
	ライフサイエンス										
	総合科目Ⅳ(ライフサイエンス)	2 後		2		3 2	0 1				社会科学系科目の再編による科目名称変更、昇格による教員配置変更 (21)
	総合科目Ⅴ(情報化と国際化)	3 前		2							社会科学系科目の再編による廃止 (21)
	総合科目Ⅵ(技術の現在)	1 前		2							社会科学系科目の再編による廃止 (21)
	科学技術と社会	1 前		2							
人間と環境Ⅰ	1 後		2								
人間と環境Ⅱ	2 前		2								
エコロジー基礎	2 後		2								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
総合科目	English Critical Media Studies I イングリッシュ・コミュニケー	2 前		2								外国語科目の再編（習熟度別）による科目名称変更（20）	
	English Critical Media Studies II 時事英語	3 前		2								外国語科目の再編（習熟度別）による科目名称変更（20）	
	English Analysis of New Social Movements ライティング	3 後		2								外国語科目の再編（習熟度別）による科目名称変更（20）	
	English Critical Thinking I 総合英語	1 前		2								外国語科目の再編（習熟度別）による科目名称変更（20）	
	English Critical Thinking II 英語表現	1 後		2								外国語科目の再編（習熟度別）による科目名称変更（20）	
	English Social Issues I 英語講読Ⅰ	2 前		2								外国語科目の再編（習熟度別）による科目名称変更（20）	
	English Social Issues II 英語講読Ⅱ	2 後		2								外国語科目の再編（習熟度別）による科目名称変更（20）	
	学外英語検定Ⅰ	1234 前後		2									
	学外英語検定Ⅱ	1234 前後		2									
	ドイツ語Ⅰ 基礎ドイツ語	1 前		2									外国語科目の再編（習熟度別）による科目名称変更（20）
	ドイツ語Ⅱ ドイツ語表現	1 後		2									外国語科目の再編（習熟度別）による科目名称変更（20）
	ドイツ語Ⅲ ドイツ語講読Ⅰ	2 前		2									外国語科目の再編（習熟度別）による科目名称変更（20）
	ドイツ語Ⅳ ドイツ語講読Ⅱ	2 後		2									外国語科目の再編（習熟度別）による科目名称変更（20）
	中国語Ⅰ 基礎中国語	1 前後前		2									外国語科目の再編（習熟度別）による科目名称変更、学部定員増に伴う開講期の追加（20）
	中国語Ⅱ 中国語表現	1 後		2									外国語科目の再編（習熟度別）による科目名称変更（20）
	中国語Ⅲ 中国語講読Ⅰ	2 前		2									外国語科目の再編（習熟度別）による科目名称変更（20）
	中国語Ⅳ 中国語講読Ⅱ	2 後		2									外国語科目の再編（習熟度別）による科目名称変更（20）
	韓国語（朝鮮語）Ⅰ 基礎韓国語（朝鮮語）	1 前後前		2									外国語科目の再編（習熟度別）による科目名称変更、学部定員増に伴う開講期の追加（20）
	韓国語（朝鮮語）Ⅱ 韓国語（朝鮮語）表現	1 後		2									外国語科目の再編（習熟度別）による科目名称変更（20）
	韓国語（朝鮮語）Ⅲ 韓国語（朝鮮語）講読Ⅰ	2 前		2									外国語科目の再編（習熟度別）による科目名称変更（20）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合科目	韓国語（朝鮮語）Ⅳ 韓国語（朝鮮語）講読Ⅱ	2 後		2							外国語科目の再編（習熟度別）による科目名称変更（20）
	認知心理学	1234 前		2							総合科目拡充による科目の新設（20）
	組織心理学	1234 後		2							総合科目拡充による科目の新設（20）
	倫理学	1234 前		2							総合科目拡充による科目の新設（20）
	生命倫理概論	1234 後		2							総合科目拡充による科目の新設（20）
	社会福祉論	1234 前		2							総合科目拡充による科目の新設（20）
	科学技術史	1234 後		2							総合科目拡充による科目の新設（20）
	情報社会と法	1234 前		2							社会科学系科目の再編による科目の新設（21）
	日本国憲法	1234 後		2							社会科学系科目の再編による科目の新設（21）
	プレゼンテーション論	1 前後		2							総合科目拡充による科目の新設（20）
	文章論	1 前後		2							総合科目拡充による科目の新設（20）
	社会ニーズ調査概論	1 前		2							社会科学系科目の再編による科目の新設（21）
	社会ニーズ調査技法	1 前		2							社会科学系科目の再編による科目の新設（21）
	社会ニーズ分析	1 後		2							社会科学系科目の再編による科目の新設（21）
	システムとは	1 後		2							社会科学系科目の再編による科目の新設（21）
	教育原論	1 前		2							教職課程認定に伴う科目の新設（21）
	教育心理学	1 前		2							教職課程認定に伴う科目の新設（21）
	教育の近代史	1 前		2							教職課程認定に伴う科目の新設（21）
	教育の現代史	1 後		2							教職課程認定に伴う科目の新設（21）
	経営行動科学	2 後		2							社会科学系科目の再編による科目の新設（21）
	人間・社会システム概論	3 前		2							社会科学系科目の再編による科目の新設（21）
	先端技術とビジネス	3 前		2							社会科学系科目の再編による科目の新設（21）
	教育社会学	3 前		2							学部定員増に伴う外国語拡充による科目の新設（20）
	フランス語Ⅰ	1 前		2							学部定員増に伴う外国語拡充による科目の新設（20）
	フランス語Ⅱ	1 後		2							学部定員増に伴う外国語拡充による科目の新設（20）
	フランス語Ⅲ	2 前		2							学部定員増に伴う外国語拡充による科目の新設（20）
	フランス語Ⅳ	2 後		2							学部定員増に伴う外国語拡充による科目の新設（20）
	スペイン語Ⅰ	1 前		2							学部定員増に伴う外国語拡充による科目の新設（20）
	スペイン語Ⅱ	1 後		2							学部定員増に伴う外国語拡充による科目の新設（20）
	スペイン語Ⅲ	2 前		2							学部定員増に伴う外国語拡充による科目の新設（20）
	スペイン語Ⅳ	2 後		2							学部定員増に伴う外国語拡充による科目の新設（20）
	体育講義	1 前後前		2							学部定員増に伴う開講期の増（21）
体育実技Ⅰ	1 前		1							体育実技科目の再編による廃止（20）	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目 (システム・情報科目)	システム工学演習A システム工学演習II	2 前後	1									システム工学系科目の再編に伴う科目名称、開講期変更 (21)
	管理工学	3 前		2								システム工学系科目の再編に伴う科目名称変更 (21)
	システム工学C (プロジェクトマネジメント) システム工学III	3 前		2								システム工学系科目の再編に伴う科目名称変更 (21)
	システム工学演習C システム工学演習III	3 前		2								システム工学系科目の再編に伴う科目名称変更 (21)
	エコロジー応用	3 前		2								
	信頼性工学	3 後		2								
	人間工学	3 後		2		1	0+					昇格による教員配置変更 (21)
	創る	1 前		2		2						科目名称整理のため科目区分変更 (21)
	電子・情報システム概論	1 前		2								システム・情報科目拡充のための科目の新設 (20)
	機械・環境システム概論	1 前		2								システム・情報科目拡充のための科目の新設 (20)
	環境マネジメントシステム論	2 後		2								システム・情報科目拡充のための科目の新設 (20)
環境マネジメントシステム演習	2 後		1								システム・情報科目拡充のための科目の新設 (20)	
専門科目	解剖学	1 前		2		1						
	基礎生理学	1 後		2					1			
	基礎分子生物学	1 後		2					1			
	生命科学概論	1 前		2		10 9	1 2		3			昇格による教員配置変更 (21)
	医学概論	2 前		2		1						
	微生物学概論	2 前		2		1						
	バイオテクノロジー概論	2 前		2								
	医用機器概論	2 後前		2		1						教育効果を考慮し開講期変更 (20)
	免疫学	2 後		2								
	基礎生化学	2 前		2		1						
	環境科学	2 後		2		1						
	食品衛生学	2 前後		2				1				教育効果を考慮し開講期変更 (20)
	公衆衛生学	3 前		2								
	薬理学	3 後		2		1						
	生命統計学	3 後前		2		1	0+					教育効果を考慮し開講期変更 (20) 昇格による教員配置変更 (21)
	生命倫理	3 前		2								
	再生医工学	3 後前		2		1						教育効果を考慮し開講期変更 (20)
	生命支援工学	3 後		2		1						
	物理化学	1 後		2								
	有機化学 I	1 後		2		1						
無機化学	1 前		2									
分析化学	1 後前		2								教育効果を考慮し開講期変更 (20)	
分子生態学	2 前		2									
生化学 I	2 後		2		1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専 門 科 目	有機化学実験	2		2		1						教育効果を考慮し開講期変更(20)	
	生物有機化学	2		2								教育効果を考慮し開講期変更(20)	
	微生物工学Ⅰ	2		2		1							
	植物生理学	2		2									
	生体高分子工学Ⅰ	2		2						1			
	食品栄養化学Ⅰ	2		2				1					
	環境化学Ⅰ	3 2	前 後	2		1							教育効果を考慮し配当年次・開講期変更(20)
	生理学Ⅰ	2	後	2						1			
	環境化学Ⅱ	3	後	2		1							
	有機化学Ⅱ	2 3	前	2		1							教育効果を考慮し配当年次変更(20)
	生化学Ⅱ	3	前	2		1							
	食品栄養化学Ⅱ	3	前	2				1					
	微生物工学Ⅱ	3	前	2		1							
	生体高分子工学Ⅱ	3	前	2						1			
	生理学Ⅱ	3	前	2						1			
	医薬品合成化学	3	後	2		1							
	生命科学実験Ⅰ	3	前	2		1				1			
	生命科学実験Ⅱ	3	前 後	2		1				1			教育効果を考慮し開講期変更(20)
	生命科学実験Ⅲ	3	後	2		1		1					
	機械力学	1	前	2									
	機構学	1	後	2									
	材料力学	1	後	2		1							
	流れ学	2	前	2						1			
	機械設計	2	後	2		1							
	機械設計演習	2	後	2		1							
	機械要素	2	前	2		1							
	電気回路	2	前	2		1							
	制御工学	2	後	2									
	電磁気学	2	後	2		1							
	電子回路	3	前	2		0 +							担当科目時間削減のため担当教員変更(20)
	メカトロニクス	3	前	2		1							
	CAD/CAM演習	3	後	2		1							
	シミュレーション工学	3	前	2						1			
	生体力学	2	前	2		1		0 +					昇格による教員配置変更(21)
	医療福祉基礎実験	2	後	2		3							
	医療福祉設計	3	前	2		3							
	医療福祉設計演習	3	前	2		3							
	生体材料学	3	前 後	2		1							教育効果を考慮し開講期変更(20)
	生体流動工学	3	後	2						1			
	リハビリテーション工学	3	後	2		1		0 +					昇格による教員配置変更(21)
バイオロボティクス	3	後	2		1								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	医用画像工学	3 後		2							
	福祉支援工学	3 後		2		1					
	人工臓器	3 後		2		1					
	医療福祉応用実験Ⅰ	3 前		2		2	0		1		昇格による教員配置変更(21)
	医療福祉応用実験Ⅱ	3 後		2		2					
	総合研究	4 通	6			10	1		3		昇格による教員配置変更(21)
教職課程科目	代数(基礎)	2 前			2						教職課程認定に伴う科目の新設(21)
	代数(応用)	2 後			2						教職課程認定に伴う科目の新設(21)
	統計解析	2 後			2						教職課程認定に伴う科目の新設(21)
	職業指導	3 前			2						教職課程認定に伴う科目の新設(21)
	工学基礎概論	1 前			2						教職課程認定に伴う科目の新設(21)
	情報機器の操作	1 前後			2						教職課程認定に伴う科目の新設(21)
	(教育原論)	1 前		2							教職課程認定に伴う科目の新設(21) 総合科目(再掲)
	(教育の近代史)	1 前		2							教職課程認定に伴う科目の新設(21) 総合科目(再掲)
	(教育の現代史)	1 後		2							教職課程認定に伴う科目の新設(21) 総合科目(再掲)
	(教育心理学)	1 前		2							教職課程認定に伴う科目の新設(21) 総合科目(再掲)
	(教育社会学)	3 前		2							教職課程認定に伴う科目の新設(21) 総合科目(再掲)
	教職論	1 前			2	1					教職課程認定に伴う科目の新設(21)
	教育方法・技術論	2 前			2						教職課程認定に伴う科目の新設(21)
	道徳教育の研究	2 後			2						教職課程認定に伴う科目の新設(21)
	生徒・進路指導論	1 後			2	1					教職課程認定に伴う科目の新設(21)
	教育相談論	1 後			2						教職課程認定に伴う科目の新設(21)
	特別活動の研究	1 後			2						教職課程認定に伴う科目の新設(21)
	教育課程論	2 後			2						教職課程認定に伴う科目の新設(21)
	総合演習	2 後			2	1					教職課程認定に伴う科目の新設(21)
	数学科指導法1	2 前			2						教職課程認定に伴う科目の新設(21)
	数学科指導法2	2 後			2						教職課程認定に伴う科目の新設(21)
	数学科指導法3	3 前			2						教職課程認定に伴う科目の新設(21)
	数学科指導法4	3 後			2						教職課程認定に伴う科目の新設(21)
	理科指導法1	2 前			2	1					教職課程認定に伴う科目の新設(21)
	理科指導法2	2 後			2	1					教職課程認定に伴う科目の新設(21)
	理科指導法3	3 前			2	1					教職課程認定に伴う科目の新設(21)
理科指導法4	3 後			2	1					教職課程認定に伴う科目の新設(21)	
工業科指導法1	2 前			2						教職課程認定に伴う科目の新設(21)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教職課程科目	工業科指導法2	2 後			2						教職課程認定に伴う科目の新設(21)
	事前・事後指導	3 後			1	1					教職課程認定に伴う科目の新設(21)
	教育実習1	4 前後			2	1					教職課程認定に伴う科目の新設(21)
	教育実習2	4 前後			2	1					教職課程認定に伴う科目の新設(21)

(2) 授業科目数

届出時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 12	科目 148	科目 0	科目 160	科目 12 [0]	科目 182 [34]	科目 27 [27]	科目 221 [61]	教職課程認定に伴う自由科目の追加、学部共通科目再編に伴う追加・変更

(3) 未開講科目

該当項目なし

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	総合科目Ⅵ(技術の現在)	2	1	一般	選択	「科学技術史」新設の為
2	体育実技Ⅰ	1	1	一般	選択	体育実技系科目再編の為
3	体育実技Ⅱ	1	1	一般	選択	体育実技系科目再編の為
4	法学Ⅰ	2	1234	一般	選択	社会科学系科目の再編の為
5	法学Ⅱ	2	1234	一般	選択	社会科学系科目の再編の為
6	社会学の方法	2	1234	一般	選択	社会科学系科目の再編の為
7	社会科学の方法	2	2	一般	選択	社会科学系科目の再編の為
8	総合科目Ⅱ(社会と技術)	2	1	一般	選択	社会科学系科目の再編の為
9	総合科目Ⅴ(情報化と国際化)	2	3	一般	選択	社会科学系科目の再編の為
10	応用数学	2	3	一般	選択	教職課程科目と授業内容重複の為

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

上記1～3については、生命科学科の設置申請後に科目内容の重複する科目が新設されたため、上記4～10については、平成21年度にシステム理工学部全学科における教職課程の設置申請時に教職課程に関係する学部共通科目の見直しによる新設科目との授業内容重複を考慮して廃止することとなった。廃止科目はいずれも選択科目であるため、教職課程設置以前からの在学学生を含めて卒業要件上の支障はない。在学生にも新設科目の単位修得によって卒業要件上の不利がないことと、新設科目の学修によって廃止科目の内容を補完できることを新年度ガイダンス等で説明している。

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} = \frac{10}{160} = 0.06$$

- (注) 1 「(1) 授業科目表」は、設置届出書の様式第2号(その2)に準じて作成してください。
- 2 「(2) 授業科目数」は、未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)
- 3 「(3) 未開講科目」は、届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 4 「(4) 廃止科目」は、届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 5 「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」欄には、授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- 6 「(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

6 その他全般的事項

<システム理工学部 生命科学科>

(1) 設置計画変更事項等

届出時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
学部名称 (システム工学部) 教職課程認定無し	学部名称変更 (システム理工学部) (21) 教職課程認定申請に伴い、教職課程科目 (32科目) を追加 (21)

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>学部の下にFD委員会が設置されている。また全学的組織として全学FD・SD改革推進委員会が学長の下で活動しており、現在はセンター組織化を目指している。</p> <p>b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む)</p> <p>学部FD委員会の開催は年3回、委員は各学科から1名で構成されている。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>主な審議事項は学生授業アンケートの実施・検討、および学部の優秀教育教員の選考である。</p> <p>② 実施状況 ※実施されている取組を全て記載すること。</p> <p>a 実施内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 授業評価アンケート 2) 教員相互の授業参観 3) 優秀教育教員賞受賞者の事例発表と講演 4) 全学FD講演会 5) 新任教員研修会 <p>b 実施方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 授業評価アンケート・・・前後期前授業で実施、結果をWebで公開、教員のコメント機能、優秀教育教員の選考に利用 2) 教員相互の授業参観・・・すべての授業がアーカイブ可能で、何人かの教員は他の教員にも公開 3) 優秀教育教員賞受賞者の事例発表と講演・・・非常勤講師も含めた全教員の場で実施。 4) 全学FD講演会・・・平成21年度は2回実施。豊洲校舎と大宮校舎をTV会議システムで接続、配信。 5) 新任教員研修会・・・全学FDで平成21年度は4月と9月の年回実施予定。4月は講義形式、9月はワークショップ形式 <p>c 開催状況 (教員の参加状況含む)</p> <p>教員相互の授業参観はまだ一部の有志に限られており、組織的实施が検討されている。 優秀教育賞教員の事例発表と講演は次の全学FD講演会第1回と同時開催。 全学FD講演会は平成20年の第1回(4月)は約200名、第2回(10月)は約50名であった。 新任教員研修会は21年4月の第1回は授業のあった1名を除いては全員の出席であった。</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>授業アンケート結果の公開および優秀教育教員選考への利用は教員の授業方法改善への動機となっている。また、優秀教育教員の事例発表・講演もまた教員にとっては大きな刺激となっており、良い事例を積極的に取り入れようとする教員も多い。</p>
--

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

「学校法人芝浦工業大学評価委員会規程」に基づき、自ら点検・評価を行い、大学運営を大学設置趣旨の目的に添った展開を行うよう全学を上げて取り組んでいる。

また、大学においては大学全体の取り組みとして”チャレンジSIT-90作戦”において《教育・研究・イノベーションの一体推進の新たな挑戦》を推進テーマとし、各教学機関、センター等から年間の実施計画（行動計画）を年度当初に提出させ、学長室と各機関とのすり合わせ、中間報告、自己評価を含む最終報告を大学の全学会議で行い、PDCAの実質化を図っている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・公表済み

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、大学HPでの公表等

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成24年度に評価機関（財）大学基準協会）の評価を受けるべく、学内で準備中

(4) 情報提供に関する事項

計画の区分：学部の学科の設置

① 設置届出書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成21年 10 月 1日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置届出書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(http://www.) ※後日連絡(未定につき)

② 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表予定時期 (平成21年 10 月 1日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(http://www.) ※後日連絡(未定につき)

- (注) 1 項目は、1～5の項目により記入した事項以外で、届出時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- 2 「(1) 設置計画変更事項等」の記入事項は、原則として、設置届出書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)
- 3 「(3) 自己点検・評価等に関する事項」については、届出時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
- 4 「(4) 情報提供に関する事項」の「①」について、現在は未公表であり、今後公表を予定している場合、公表後の取扱いについて記入してください。
また、「①」又は「②」の「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。
なお、「②」について、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : d-secci@mext. go. jp
件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。